原稿掲載文（アート作品）

un02　舟底の記憶 / 小沢敦志

「人の記憶とともに成長する巨大な鉄」

旧日本軍の軍艦のいかりとノルウェー船のスクリューを利用。鉄のパーツは足され、海底の付着物や人の記憶が年月で増えるように作品も増殖する。

un03　終点の先へ / 小沢敦志

「港と鉄道の終点があるまちを走る」

鉄の廃材をぺちゃんこに叩き、放置自転車に溶接。レンタサイクルに再生させた。

un04　宇野のチヌ・宇野コチヌ / 淀川テクニック

「宇野港で親しまれるチヌとコチヌ」

宇野港周辺で採取したゴミや、不要品を集めてつくったチヌ（クロダイ）。

un05　JR宇野みなと線アートプロジェクト / エステル・ストッカー

「モノトーンに彩られた4つの駅」

JR宇野みなと線の4駅（常山駅、八浜駅、備前田井駅、宇野駅）を白と黒のライン

で装飾した。ありふれた光景が一変し、駅ごとに変化する風景が楽しめる。

un08　海の記憶 / 内田晴之

「海水を秘めた、公園のシンボル」

御影石の上に浮かんだ金属の彫刻は、そのなかに海水を秘めている。そのフォルムは

人を導く船であり、生命を運ぶ種子であり、広大な海のひとしずくでもある。

un14　S.F.（Seaside Friction） / 金氏徹平

「公園内にそびえるいくつかの物語」

玉野競輪場の横に位置する日之出公園。作家は競輪場の改修工事によって出てきた椅

子や手すり、競輪選手の肖像画など、競輪施設で使用されていた素材を基に、まった

く異なる様相のオルタナティブな物語を彫刻作品として制作し、複数点設置する。公

園内に植わっているヤシの木の間を縫うように、その彫刻作品を植物のごとく点在さ

せる。

海からの贈りもの / 白井美穂　※瀬戸内国際芸術祭公式作品ではございません。

宇野駅前広場に設置されているオブジェ。動物たちに、ロックスターやマジシャンを

連想させる衣装を着せ、華やかでユーモラスな、かつ不思議なものとする。風にそよ

ぐフリンジやマントで、ブロンス彫刻の重く固定的な印象に動きを与え、翼や花の形

態といった自然界の別の生命体の要素とも合体させる。

愛の女神像 / ドルヴァ・ミストリー　※瀬戸内国際芸術祭公式作品ではございません。

宇野駅を出てすぐ目の前、シーサイドパーク内に設置された大きなオブジェ。海門の

入口で、自然美に誘われて集まる人々を待つ、森の妖精をイメージして制作された。